

1 Web版消費者教育読本の構成

注)本教材は消費者教育に限り、使用可能です。
営利を目的とした使用は一切禁止とします。

この教材は、Web版消費者教育読本、ワークシート、指導書から構成されています。



Web版消費者教育読本
(3つのステージ)



ワークシート
(エクセルでダウンロード可能)



指導書
(A4判16ページ)

① Web版消費者教育読本

児童がそれぞれのパソコン・タブレット上で、体験学習できるように設計されています。

トップ画面



② ワークシート

このワークシートは各ステージに対応しており、自由に加工することができます。

Web版読本の各ステージに対応

ワークシート①

めあて の大切さと使い方を考えよう

1 授業ではどのようなお話を学んでいるのか、考えよう。

() ことばによって得たお話を、 () を選ぶ。

1 2

Web版「ヒモツその1」から、誰いている人たちが登場して、話を聞いてみよう。誰いている人のやりがいや好きなことを書いて、どんなに楽しんでいるか、友達に話して聞かせることを楽しもう。

2 生活に必要なお金の流れを調べ、使い方の大切さを考えてみよう。

3 Web版「ヒモツその2」を見て、新たに登場した登場人物や登場シーンを考えてみよう。

4 学習を振り返りよう。(気づいたこと、分かったこと、考えたことなど)

年 組 名 姓

ヒミツ その①

ヒミツ その②

ワークシート②

めあて お給料の使いみちを考えよう

Web版「ヒモツその3」を見て、1か月の生活費を計算しよう。

1 1か月の生活費を計算して、お給料の使いみちを考えよう。

2 Web版「ヒモツその3」を見て、お給料の使いみちを考えよう。

3 生活に必要なお金の流れを調べ、使い方の大切さを考えてみよう。

4 学習を振り返りよう。(気づいたこと、分かったこと、考えたことなど)

年 組 名 姓

ヒミツ その③

③ 指導書(本書)

この教材を使った授業をイメージできるように、全体像を一目で把握できるように工夫しました。授業計画作成の参考にしたい方向けには、授業展開例とワークシートの解答例もあります。

全体像を一目で把握したい方へ

3 授業展開例

1 ヒミツその1～その3を使った授業のイメージ

2 生活に必要なお金の流れを調べる。(ヒモツその2)

3 家庭は、何をして暮らしているのかを調べる。(ヒモツその3)

授業の流れを作る発問のヒントが満載です。

授業計画作成の参考にしたい方へ (家庭科教員向け)

授業展開例-2 5年(内容C)題材名「しょうじくにお金とお金物」

●小題材名 「お金や物の流れ、その使い方を考えよう」

○目標 ①お金の大切さと関係するお金の流れを調べる。 ②必要なお金の流れの使い方を考える。

●本単の学習目標

学習目標	学習活動	授業上の留意点	教材
1. 生活に必要なお金の流れを調べる。	① お金の流れを調べる。	①生活に必要なお金の流れを調べる。②生活に必要なお金の流れを調べる。	ワークシート①
2. お給料の使いみちを調べる。	① お給料の使いみちを調べる。	①お給料の使いみちを調べる。②お給料の使いみちを調べる。	ワークシート②
3. 生活に必要なお金の流れを調べる。	① お金の流れを調べる。	①生活に必要なお金の流れを調べる。②生活に必要なお金の流れを調べる。	ワークシート③

2 3つのステージの説明

ヒミツ その① お金って、いったいどこから来るんだろう？

小学校5年生の主人公「計画まもる」と一緒に、家族や町の人がどんな仕事をして収入を得ているのか、町に出て話を聞きに行きます。

生活するにはお金が必要で、家族が働いて得た大切な収入であることが学べます。

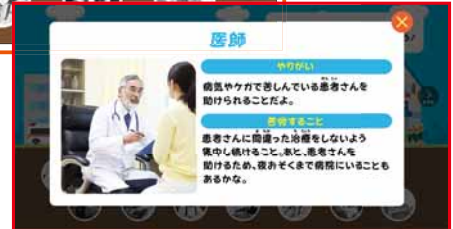


スクロールすると町の風景が次々と変わります。

14種類の職業

- | | |
|-------------|-----------|
| ① 医師 | ⑧ 建築士 |
| ② 警察官 | ⑨ 保育士 |
| ③ 花農家 | ⑩ コンビニ店員 |
| ④ ペットショップ店員 | ⑪ ホームヘルパー |
| ⑤ パン屋 | ⑫ 会社員(事務) |
| ⑥ 漁師 | ⑬ 工場従業員 |
| ⑦ 美容師 | ⑭ 宅配便の運転手 |

職業は全部で14種類。アイコンをクリックすると、一度見た職業をいつでも振り返って見ることができます。



14種類の職業について、やりがいと苦勞することを見ることができます。

ヒミツ その② 生活するためには、ぜ～んぶお金が必要だよ

計画家の家の中を見ながら、家庭ではどんな生活費がかかっているか考えます。



普段あまり意識していないけれど、生活するためにはいろいろなことにお金がかかっていることを学べます。



ボタンを押すと、部屋のどこかで電気が付いたり、水が流れたりして、生活費を探すヒントが現れます。

生活費

- | | | | |
|-------|---------|----------|----------|
| ① 電気代 | ④ 医療費 | ⑦ 衣料費 | ⑩ 食費/日用品 |
| ② 水道代 | ⑤ 交通費 | ⑧ その他の費用 | ⑪ 家賃 |
| ③ 教育費 | ⑥ レジャー費 | ⑨ 通信費 | ⑫ ガス代 |



ヒミツ その③ お給料の使いみちを考えてみよう!

計画家の家の人の立場になって、1か月の給料で生活する体験学習をします。



1日から30日目までの中で、買い出しに行く、休みの日に遊びに行くなど、いろいろな出来事が起こります。

一度クリック(タップ)すると、選び直すことはできません。実際の買い物と同じように「よく考えてから」買うことが重要です。



児童は、財布の中の現金87,000円と貯金80,000円の範囲で、何にお金を使うかを考え、決定します。

財布の残額と貯金額は、見たいときにいつでも見られるようになっています。



1か月の体験終了後、財布の残額が表れ、結果に応じたマネーベルのアドバイスが表れます。結果は全部で18種類。Web上の「Web版教材のご紹介」からダウンロードできます。

「計画的にお金を使う」ためにはどうしたらよいか、自分の言葉で発言できるような仕掛けが満載です。



買った物	支払い金額	残ったお金	貯金額
持っているお金		87,000	80,000
食費 (1日分の食料)	60,000	27,000	80,000
ノート	200	26,800	80,000
シャンプー	400	26,400	80,000
誕生日 レストランで食事	6,000	20,400	80,000
医療費	3,000	17,400	80,000
雑費 (貯金を使って新しいものを買う (2万円))	17,400	60,000	

児童は支払い情報をワークシートに書き写し、「どのように考えて選択したのか」話し合います。